



粉体塗料

ネオフロン™ETFE 粉体塗料

ネオフロン ETFE 粉体塗料はテトラフルオロエチレン・エチレン共重合体で、極めて容易な加工性と柔軟性があり、さらに優れた電氣的・化学的性質を持っています。

特に機械的強靱さ(屈曲寿命)に加え、化学的・熱的・電氣的特性に優れているため、さまざまな環境で使用されています。

ネオフロン ETFE 粉体塗料は、高度の密着性を保持する耐熱プライマーを用いることによりさまざまな分野で幅広いニーズに対応

1. 品番

ETFE 系粉体塗料の品種

品番	塗料概観	粒径 μm	見掛密度 g/ml	MFR g/min	塗膜色調	加工方法	加工可能膜厚 μm	備考
EC-6510	白色粉体	40~110	0.65~0.95	6~20	クリア	静電塗装	300~2000	厚塗り用
EC-6515	緑色粉体	15~110	0.55~0.95	6~20	緑色	静電塗装	300~2000	厚塗り用
EC-6516	青色粉体	15~100	0.55~0.95	6~20	青色	静電塗装	300~2000	厚塗り用
EC-6519	黒色粉体	15~110	0.55~0.95	6~20	黒色	静電塗装	300~2000	厚塗り用
EC-6520	白色粉体	15~55	0.55~0.95	6~20	クリア	静電塗装	100~300	薄塗り用
EC-6820	白色粉体	150~270	0.70~1.00	19~36	クリア	回転成形	500~5000	高純度タイプ

ETFE 系粉体塗料用プライマーの品番

品番	塗料概観	粘度 cP(25°C)	固形分 mass%	pH	塗料比重	加工方法	加工可能膜厚 μm	備考
EPW-1609BK	黒色液体	200~400	38~44	6.5~8.5	1.0~1.3	スプレー塗装	10~60	非危険物

2. 性質

2-1 粉体の性質

項目	測定条件	単位	EC系 静電塗装用	EC系 回転成形用
見掛け密度	JIS K6891 に準拠	g/ml	0.65~0.95	0.70~1.00
平均粒径	レーザー回折法	μm	40~80	200~300
融点	DSC	°C	216~230	213~227
MFR	温度 297°C-荷重 5kg	g/10min	6~20	20~35

2-2 塗膜の性質

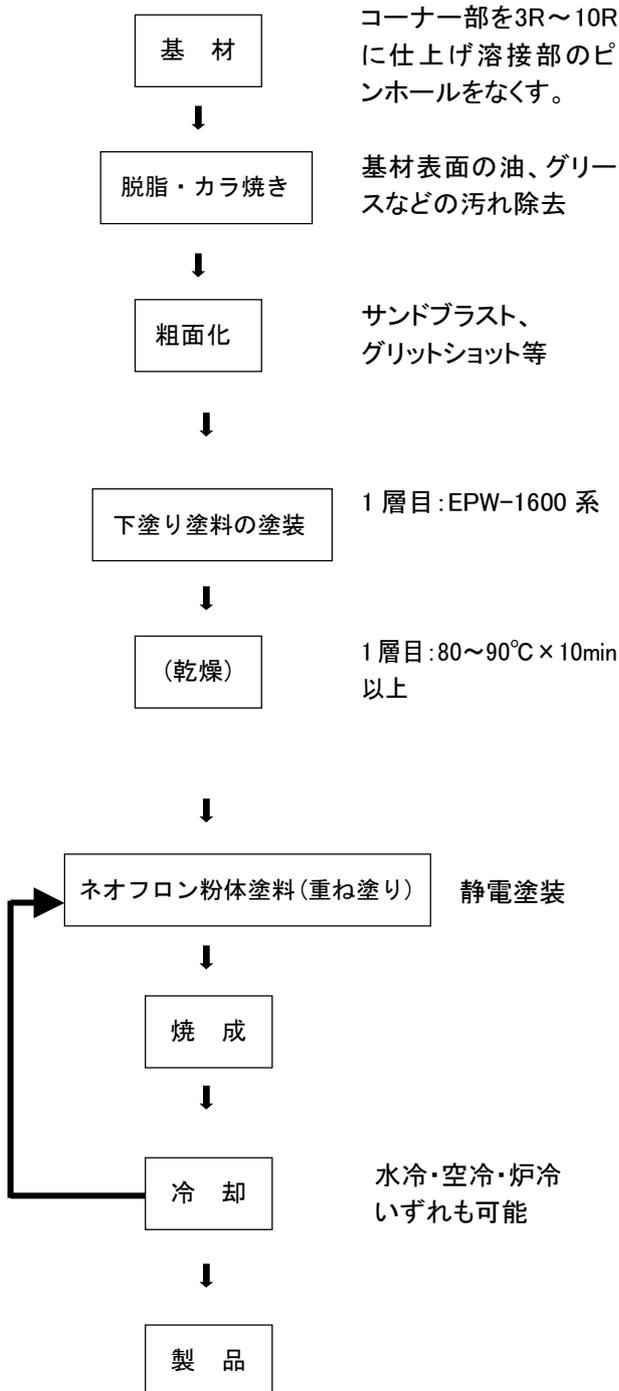
項目	ASTM 試験	測定条件	単位	EC系	EC系
				静電塗装用	回転成形用
表面粗度(Ra)	—	膜厚 300 μm	μm	0.03	0.03
光沢値	—	60°C/60°C反射率	%	60~70	60~70
難燃性	D2863	限界酸素指数	%	50	50
引張強度	D638	23°C	MPa	30	37
破断時の伸び	D638	23°C	%	400	400
曲げ寿命	D2176-69	—	回	500000	60000

3. 加工

3-1 塗装

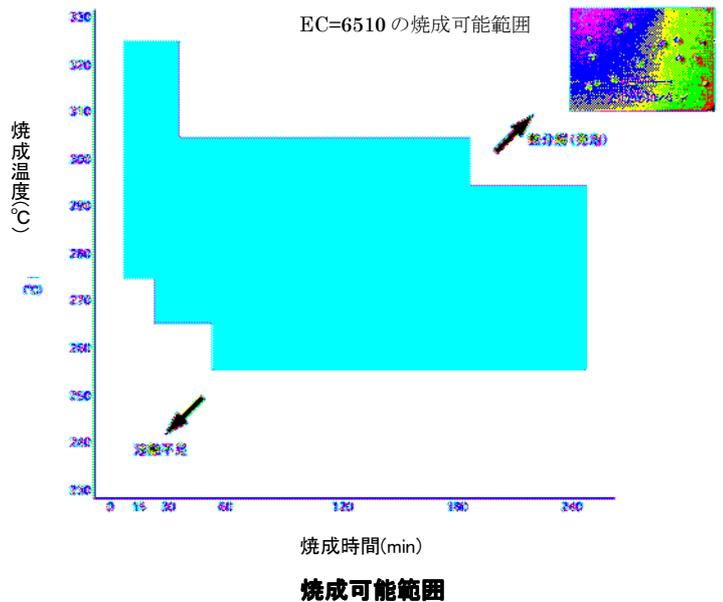
ネオフロン粉体塗料は、吹きつけ法、静電塗装法、回転成形法など一般粉体塗料と同様の方式で加工することができます。

(1)ネオフロン粉体塗料の加工順序[スプレー用]

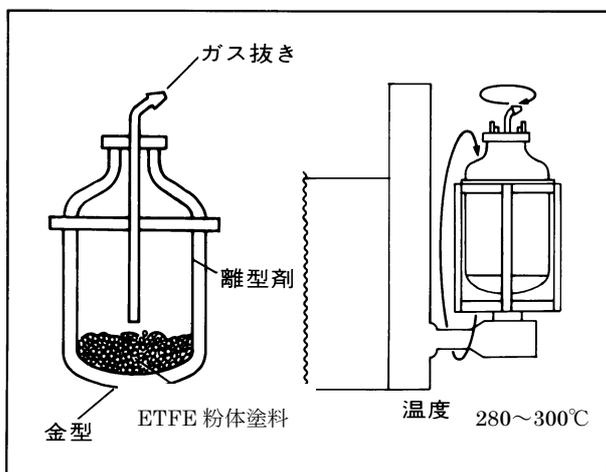
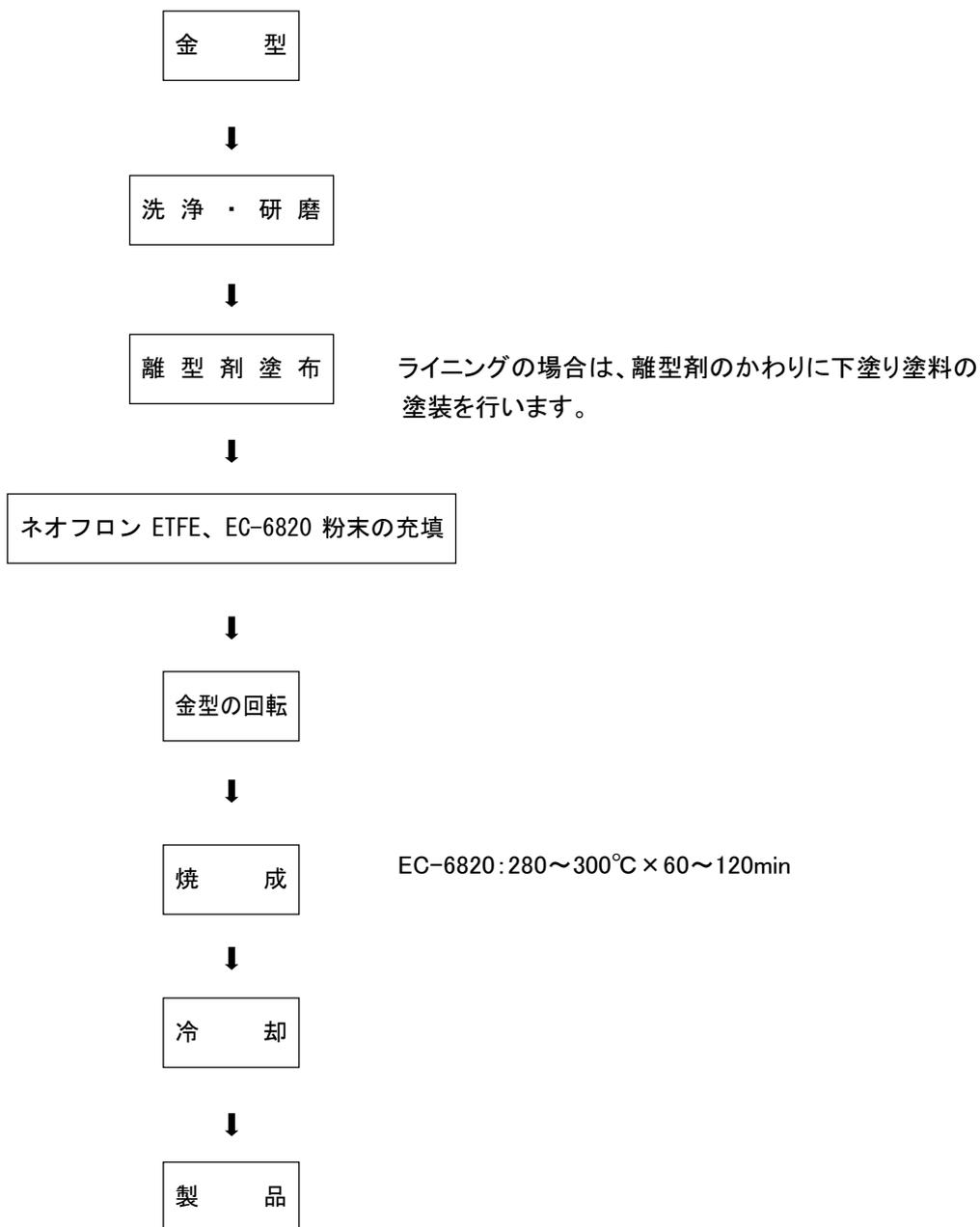


静電塗装装置

ネオフロン ETFE 粉体塗料は焼成可能な温度範囲が広いいため加工時の温度管理を容易に設定することができます。



3-2 ネオフロン粉体塗料の加工順序[回転成形用]



5. 取扱上の注意

- (1) 取扱い中は保護眼鏡および保護手袋、防塵マスク等を着用してください。
- (2) 樹脂の焼成中あるいは樹脂温度が高温(PTFE,PFA=260°C,FEP=205°C,ETFE=150°C)になる場所では換気をよくすると共に局所排気装置を設置してください。焼成時に生じるヒュームを吸入すると、流感に似た症状のポリマーヒューム熱を生じる恐れがあります。焼成時には樹脂温度がPTFE,PFA=380°C,FEP=360°C,ETFE=310°C以上にならないように管理を行ってください。高温になると熱分解が多くなり、フッ化水素等が生成する可能性が高くなります。
- (3) ネオフロン粉体塗料の付着した煙草を吸うと有害なガスを吸入する恐れがありますので作業場での喫煙は避け、作業の後は顔や手を洗うなどして粉体塗料が煙草に付着しないよう注意してください。
- (4) ネオフロン粉体塗料を廃棄する場合は、下水への流入を避け、専用の容器に保管し廃棄してください。廃棄に際しては許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して、処理を委託してください。

6. 包装仕様

ネオフロン ETFE EC-6000 シリーズ

容器:パッキングケース 入れ目:10lg

ネオフロン ETFE プライマー EPW-1600 シリーズ

容器:ポリビン 入れ目:10lg

- 当資料に記載した商品は、一般産業用途向けに供給しているものであり、特に医療用途に適するように設計、製造しておらず、医療用途への適性や安全性についての試験を行っておりません。したがって、医療用途の原料としての適性や安全性につきまして何ら保証できかねますので、医療用途へのご使用についてはお客様自らの試験、医療専門家の見解や当局の法的規制等に基づき、お客様にご判断頂かなければなりません。また、当該用途に使用される場合、弊社が提示する条件・内容の契約に合意いただける場合のみ、本商品を提供させていただきます。
- 当資料に記載したデータは実測値の一例であり、また、記載の用途例は本商品の当該用途への適用結果を保証するものではありません。

【連絡先】ダイキン工業株式会社 化学事業部

本社) 〒530-8323 大阪市北区中崎西 2 丁目 4-12 梅田センタービル

東京) 〒108-0075 東京都港区港南 2 丁目 18-1 JR品川イーストビル

<http://www.daikin.co.jp/chm/>